

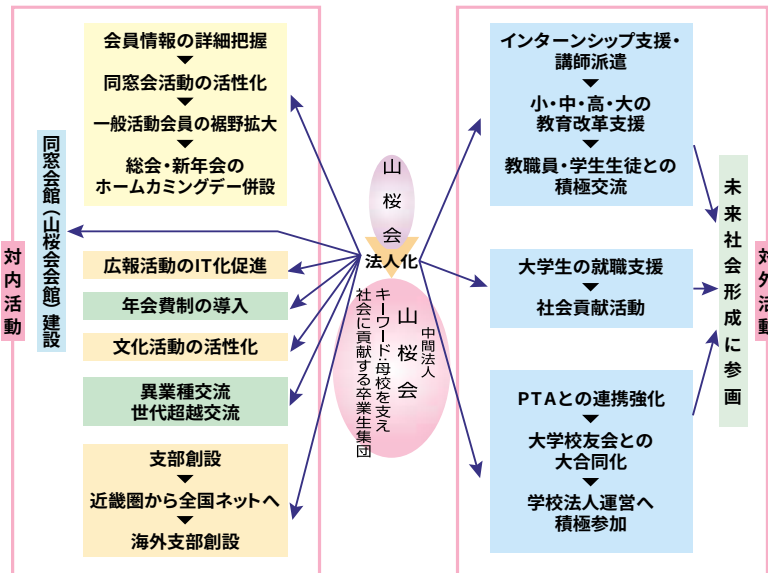


第68号

発行者
追手門学院校友会山桜会
会長 川原 俊明
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
追手門学院小学校内
TEL 06-6940-3481・FAX 06-6940-3482
© 2001 編集責任・松本暁子

CONTENTS

山桜会の近未来像を描く 川原会長.....1	中高入試要項.....4
川人校長、川原会長対談.....2・3	山桜会行事.....5
学院の現状と山桜会への期待.....3	同窓会便り.....6・7
予算、決算報告.....3	OB会便り.....8



序章

21世紀は、輝かしい世紀として豊かな未来社会が約束されているはず……。なのにその幕開けの今年2001年、ニューヨークで勃発したアメリカ同時多発テロ事件をはじめ、IT関連産業の凋落、先のない世界的経済不況など、新しい時代を創る「産みの苦しめ」というには余りにも悲惨な事件・重苦しい事態が頻発し、先行き不透明感が漂っています。

その中であつて、この4月から出発した山桜会の新体制は、志を同じくする気心の知れた仲間たちによって力強く運営され、着実に、且つ順調に歩みを進めています。

しかも、その山桜会活動は、山桜会そのものを単なる親睦組織から大きく脱皮させ、社会的な存在に位置づけようとしています。

すなわち、私たちは、追手門学院という母校に照準を当て、母校との関係を見つめ直しながら、山桜会という同窓会組織の存在意義を原点から洗い直そうとして一歩を踏み出しました。

そして、追手門の卒業生である会員一人一人に、山桜会への帰属意識を深め、実際に山桜会活動に参加することによって母校を応援し、社会に貢献する社会人としての役割を果たしているのだ、という認識を持ってもらいたい。この願いから、近未来に向けた山桜会活動方針を確立し、会員の皆様とともに力を合わせ、一つ一つ目標に向かって着実に実現を目指そうと考えています。

近未来の山桜会像

それは、山桜会が法人という独立した人格を持った団体として、母校のインターンシップ(体験学習)制度を支え、教育改革の先頭に立ち、卒業生であるとともに社会人としてのリーダーシップを発揮します。

山桜会の法人化により、会員から集められた会費や積み立てられた基金が厳格な管理下に置かれ、将来的に建設を

一方では、山桜会の組織そのものも、内部活動において大いに発展拡充する必要があります。

会員への情報伝達をIT化し、インターネットをフル活用して、山桜会自体の活動をリアルタイムでホームページに映し出します。

同期会の会合内容や山桜会ゴルフコンペの案内などすべてインターネットを通じて情報提供がなされることになり、山桜会のホームページには、リンクされた各学部のホームページを通じて追手門学院の幼稚園・小学校から大学までの現在の学内事情が卒業生の目の前に現れてきます。山桜会会報誌は、今までとは違った役割を担うかもしれません。

山桜会が本当に会員全体のものとして認識されるためには、もっと裾野を広く、活動範囲を広げる必要があります。そのためには、会員一人一人の情報正しく把握して捕提率を高めるとともに、文化活動を通じて一般会員の活動会員を飛躍的に増やし、活動範囲の

夢見る同窓会館の所有意義も「法人山桜会」として登記できるなど、独立法人としてのメリットを享受することが出来ます。

山桜会の活動の輪を広げるには、PTAとの連携はもちろんのこと、大学校友会とも大同団結して、学校法人追手門学院の運営に大きな力を発揮すべきです。

その結果、山桜会は、同窓会活動だけでなく、母校を同じくする社会人集団として、地域に根ざしたボランティア活動などを通じて、明るい未来社会の建設に貢献していくことになるでしょう。

山桜会の目的：同窓会活動を通じて社会貢献を目指す

山桜会の目的実現のためには、近畿を中心として、全国的に各地域の支部を活動拠点とし、山桜会活動の輪を広げて行くことが大切です。そして、私たち卒業生の集合場所であるとともに、山桜会活動が永続的に継続するための本部として、山桜会会館の名の下に同窓会館が建設されるまで、みんなで力を合わせ、頑張ろうではありませんか。会員一人一人が山桜会活動のメリッ

裾野を拡大していく必要があります。現に、新年会実行委員会や文化祭の模擬店「いか焼き」等で、評議員以外の一般会員の皆さんが数多く参加していただいているように、会員が山桜会としての活動に参加することで有形無形のメリットが享受できる、という理解が必要で

追手門学院が10年の歴史を経た名門であるだけに、山桜会への活動参加は、単なる同窓仲間との再会だけにとまらず、異業種交流、世代を越えた人脈形成の可能性など、とうてい金では買えない大きなメリットがあります。

このメリットを受ける代償には、会員のボランティア意識の向上とともに、一方で経費増大の壁を乗り越える必要があります。

山桜会活動の活性化の原動力として、まず必要なのが、活動経費の捻出です。少子化による会費減収問題を現実のものとして受け止めることも必要となります。そのためには従来の終身会費制を入会費に改め、別途、年会費制を導入するなど抜本的な解決策が不可欠でしょう。

山桜会の近未来像を描く

活動の原点を見据えて

会長 川原 俊明

トを享受しながら相互に豊かな人間関係の形成に貢献できれば、これほどの喜びはありません。

同じ同窓が力を合わせて社会に貢献し、新しい未来社会形成に参画できれば。

私たちの限られた人生の中で、追手門学院という母校の存在によって形成された運命の巡り合わせを十二分に満喫できるのではないだろうか。

新年会のご案内

新年会のご案内

日時：平成14年1月19日(土) 午後6時～午後8時30分

会場：太閤園2階コルデンホール 〒534-0026 大阪市東淀川区網島町9-10

会費：一般会員 10,000円
現役中・高・大生 5,000円
(小学生以下は無料)

ゲスト オペラ歌手 越智則英さん (中高15期生)

WELCOME NEW YEAR

(5面に関連記事)

お待たせしました...

山桜会ホームページ

いよいよ、12月1日グランドオープン!

<http://www.yamazakurakai.com>

情・報・満・載・!
上記のアドレスまでぜひアクセスを!!

多面的、多角的―あらゆる意味において改革推進を果たし、飛躍を目指す山桜会では、母校との連携をさらに強化することで相互的に躍進しようという観点と母校の現状を一人でも多くの会員の方々に周知していただくことの必要性を重視し、母校校長と山桜会会長の対談を企画。まず、その第一弾として、秋雨と共に秋の訪れを感じさせる十月、追手門学院小学校川人公一校長を川原会長が訪問。約一時間にわたり、それぞれの立場から母校について語り合うなど、双方にとって意義深いひとときとなった。以下、その概要をダイジェストでお伝えします。

(於・追手門学院小学校校長室、敬称略)

川原 本日はお忙しい中、貴重な時間をお取り頂きまして誠に有難うございます。追手門学院は1888年(明治21年)にこの地で高島綱之助陸軍中将が偕行社を創設され、すでに113年が経ちます。追手門学院の卒業生集団である「山桜会」もこの歴史を踏まえて現在の母校である学校の教育内容について非常に関心があります。川人校長は、追手門学院小学校の現状を踏まえて何に重点を置かれて児童を教育されているのかお聞きしたいのです。如何なものでしょうか。

川人 まず本校の歴史については、創立100周年を契機に教職員も一層学ぶことを深めることができました。そして創設期から現在までの年志書籍等を出すことにより、小学校の学院における位置付けが明解に認識することができました。このことがこれを踏まえた教育を進めるための、我々の共通意識や共通理解となっていることでもあります。

理念である社会有為の人材の育成を基本としながら「敬愛」「剛毅」「上智」という教育目標の3本柱は不易であります。その不易流行の精神を大切に、伝統的なことは変わることなく尚かつ新しい教育を育んで行く事が小学校の姿勢であり、「敬愛」「剛毅」「上智」の目標の達成をめざして子どもたちに教育しているところです。私自身は子どもたちに「気品



川人 校長

のある子」になってほしいという思いで、この10年間やって参りました。

本校の子どもたちには理想的児童像として、まず「礼儀正しく親切で何でも進んでやろうとする」「元氣な子」というのを掲げました。礼儀の大切さはもちろん、「敬愛」の心相手に対する尊敬の念など人や物に対して、そういう精神をもつことが一番大切であると指導しております。「元氣」と言うのは健康面又心の面で優れなければ元氣が出ません。元氣が出ることで総合的な人格形成が育くまれます。つまり「気品のある子」につながると子どもたちに伝えております。もちろん掲げている「高い学力強い体ねばり強い心親切」の目標がありますが、それを達成してこそ「気品のある子」に育つのです。

川原 今、川人先生がお話された礼儀正しさは先程も私が校門に入る時に下校する児童が帽子を取って一礼する姿を見まして、昔からの伝統が今も維持されていることにあらためて敬服いたしました。この礼儀正しさと「元氣な子」は外面的なことばもちろんですが、教育の中心におきましても、その姿勢は大事なことだと思えます。現在、社会は少子化になり家庭環境が昔と変わり、子どもを取り巻く教育環境そのものも大きな変化がみられます。そこで今の児童にも従来と同じような資質がそなわっているのでしょうか。また児童が授業を受ける姿勢に変化があるのでしょうか。

川人 おそらく時代を反映したなかで厳しきというものが随分変化してきているようです。現在は子どもたちを擁護する言葉が随分出ております。もちろん大切ですが、自ら我慢するとか物事に向かい、いく力を養う切磋琢磨するなどの言葉は低下しているのではないかと思います。

本校は900人を越す児童達を教育している訳ですから、反対に多人数と言う点で、友達同士の切磋琢磨がなされております。昔より少し緩やかですが、時代の中でやむを得ない面もあります。けれどその点は恵まれています。やはり厳しさは大切な面であり、その指導を続けて行きます。

又ひとりっ子や恵まれた家庭環境にいる子ども達にとつてやはり過保護、過干渉が自然と充満してきています。これも社会の現象ですが、どうしても家庭のそういう環境に流されるきらいがあります。従ってより一層その指針を持って教育をしなければなりません。本校は何回も申し上げますが、伝統を重んじる中に「厳しさ」をしっかり植え付ける教育を行いたいと思っております。

川原 先日、小学校の体育祭に参加させていただきました。そこで児童のキレビシした行動を拝見することができました。やはり、学校教育における「厳しさ」とか「けじめ」と言うのでしょうか。これがやはり少子化と言われ、家庭環境が歪んでいるといわれる中でも、追手門学院小学校としては、伝統教育が維持されていることになる訳ですね。

川人 もちろんそうですね。いわゆる人間として、こういうことが必要であるんだと、日本の習慣や文化のなかで、礼儀正しきなり規律正しきと言う躰を純粹に受け入れる土壌が失われていく面があります。しかし本校の場合は、頑なにこれを守り続けたいし、それが、社会において、相当重要な要素ではないかと確信しているからです。

〆キリ言つてその点の崩れがあるので、現実的に大人になり、社会に出た時、どうなっていくかが明らかになります。決してミリタリーではなくて「けじめ」なり「礼儀」と言うものが、社会の中で、特に日本文化の大切な部分であることを認識しておかねばなりません。

川原 ところで、最近注目を浴びた人に「不斉合成」の研究でノーベル化学賞を授章された名古屋大学の野依良治教授がおられます。野依教授は「産業に応用の出来ない化学は、意味がない。」「研究における産学協同の必要性」を強調されています。この意見は、直接、小学校教育に結びつくものではないかもしれませんが、例えば、理科の実験を教科書どおりやるだけが、本当に児童に身につく教育方法なのか疑問



があります。「理科は、社会に役立つものを作り出すうえにおいて、どのような材料を使えばより良いものが出来るのかを調べる手段として、材料分析や化学反応を見るのだ」と言うことを児童達に理解させ、関心を持たせたうえ実験をすればいいと思うのです。つまり、学校教育と言うのは実社会に役に立つ教育も今後大切になって来ると思うのですが如何でしょうか。

川人 確かに野依教授は「理科を好きにならなさい」と言う言葉を唱えたのですが、意味深い事です。小学校に限らず、小中高ひいては大学に至るまでのしっかり系統性を持った学習形態が必要であります。これについては、国の指導要領にそつて各校で教科書が作成され、その教科書も検定制度になっています。その中から各校が選択しているのですが、皆指導内容は1年生で習い、そして2年生で習う事と順に関連させているわけです。指導方法はただレクチャーだけではなくて、よく言われている自主性を導び自ら学習し、個性の伸長をはかり興味を生み出すよう研究されています。本校も熱心に研究しています。

小学校教育は、特定の学問に突き進むのも良いのですが、児童の基礎基本の時代を預かる教育機関ですので、芸術教科に至るまでを全てしっかり指導するのです。そのために本校は37年前(昭和42年)私が本校に着任した時より教科担任制が実施されました。すなわち高学年においては専門性のある先生方に「教科

年会費の導入に「理解と」協力を

財務委員長

川口 正弘

川原会長のもと、新生山桜会が誕生して早半年が過ぎ去り、この間各委員会を中心にかつてない活動が繰り広げられてきました。そしてこれからもますます活発に活動していくものと確信いたしております。さらに山桜会の将来の展望を考えると、東京支部だけでなく、全国各都市に支部の創設や、同窓会会館(仮称山桜会会館)の建設をも視野にいれ、山桜会のますますの発展の基礎を築く時期にきています。山桜会活動が活発になればなる程必要になってくるのは活動資金であり、今の終身会費だけでは将来、少子化の影響もあり収入は減る一方で既に来年は約150万円減の予想。今のうちに何らかの手をうたなければならぬものと考えます。勿論、今期の大きな課題であるお金を生み出す方法は今後とも継続して検討していくとし、新たに年会費制の導入を会長・副会長の総意として10月6日の理事会に提案させていただきました。会員の皆様方には山桜会の将来の為、年会費制の導入に「理解を賜り」協力いただきますようお願い申し上げます。

平成12年度決算13年度予算について

財務委員長

石津 良行

平成13年度山桜会総会が6月24日(日)午前11時から母校追手門学院小学校講堂において開催されました。議事進行に合わせまして、平成12年度山桜会収支計算書及び平成13年度予算案の内容を報告致します。

収支決算につきましては、収入の部におきまして、会員皆様方のご協力によりまして、賛助金、会報広告料並びに名簿販売料収入が確保できました事にお礼申し上げます。

支出の部では、会報発行費が突出しておりますが、会報を通じて山桜会活動の活性化、会員相互の結びつきの為必要とされるものであります事をご理解願います。

又、予算案におきましては、前年度予算と同規模の予算を組ませていただきましたが、本年度につきましては、11の各委員会の活動を支援する意味におきまして、予備費の拡大を行いました。又、将来の山桜会の財政を確固たるものにする為に、山桜会基金積立金を計上させていただきました。

以上報告致しますと共に、改めまして会員皆様方のご支援ご協力に感謝いたします。

学院の現状と山桜会への期待



学院長 戸塚 登

少子化の荒波に直撃され、ご心配をおかけした両中・高等学校も、ようやく改革と活性化へ動き出しました。この

流れを確かなものにするのが目下の最優先課題です。学院に六つの労働組合があることに象徴された学園の体質も、追手門ファミリーの結集とオール追手門の向上を目指す学院運営により、急速に変化しつつあります。折しも山桜会の新執行部から、この方向性に強力な支援をいただけることになり、学院の画期的な再生的展開が射程に入ってきました。幼稚園から大学院へ一貫する総合学園として新世紀に雄飛したいものです。教職員や同窓生など学院の総力を結集できる日の早からんことを切望してやみません。



川原 会長

山桜会が先生方と理解を深め、提携して人間教育、社会教育に貢献したいと思います。

川原 先生がおっしゃいました総合的学習は言わば社会体験を児童に教える意味合いとして山桜会も積極的にいかかわっていく役割をはたすためにも是非協力していかねければならないですね。ところで追手門学院は総合学園でありながらも追手門学院の発祥が小学校から来ており、その特色が強すぎるため小学校と中学校そして高校との連携が、現実には思うように出来ていないのではという認識があります。また現実的理想的な一貫教育が追手門学院で成しうるのか、この点についてどう考えようか。川原 成しうるか、と言うよりも是非成し得ないことにはやはりこれからの将来の展望が望めないと思います。成し得なければ成らないと強く思います。以前は間違いなく成し得ていた時期があった訳ですが、それがどうしてこうなったのか？それに対する反省、対策、対応が学院組織の中で十分検討できなかった行われなかった事に問題があり、一員として強く責任を感じます。しかし各教育機関は独立心があつて、その独自性を出さなければならぬために努力された結果、異なった独自力、それが組織として一貫性がなくなつた事だと思っています。いろいろな面で全学教員の共通認識を深める事が出来なかつた事が大きいと思います。今後、もっと強く教師集団の連携と、子どもたちをどう育てていくか一貫したものを目指して社会の丁ズに答えなければならぬと思います。関東には、慶応や学習院等、その他の名門校のように、一貫教育の充実しているすごい学園があります。しかし、関西には少なく中高からはという学園はありますが、しかし本学院は総合一貫教育という丁ズの広さと名門という地盤があります。それを踏まえながら大学教育まで一貫性を持って教育する事ができれば大いなる発展につながると思います。川原 そうしますと小・中・高・大という折角の器がありながら、今まで生徒や父兄の需要に必ずしも追手門学院が対応出来ていない部分もあり、「一貫教育」という教育的メリットを生かすためにも、今後は明確に教員の方や学校法人理事の方々に認識をしていただく必要性もあるのでしょうか。山桜会では、小中高の卒業生としても大学も含めて理想的な一貫教育を強い決意を持ってぜひ実現して欲しいと思います。伝統を忘れずにグローバルな総合学園の実現のため山桜会としても大いに学校教育にかかわって応援していく体制作りに進んでいきたいと思っていますので、協力下さるようお願いいたします。本日はお忙しいところ、長時間にわたり、貴重な意見をお聞かせいただきありがとうございます。

川原

公立校ではなく私学としての追手門学院では、特色ある教科担任制が随分と早くから採り入れられているわけですが、先生方は企業社会と直接接する機会が少ない中、より現実社会に目を向けて頂くためにも、今後社会経験を重ねた卒業生集団の「山桜会」が先生方と理解を深め、提携して、本当の人間教育を、あるいは社会教育の方向づけの役割に貢献したいと思

一教科担当し深い学習をしてきました。その流れの中で、本人の一番大切なものを見極め次の中学へつなげ、その子に合ったものを学習していく事によって「創造力」を持たしながら開発していく。それが全ての人間の幸福や平和につながるものになっていくことだと思います。それが本校にのつての理念とする社会有為の人材の育成であります。これについては山桜会の会員の方々が身を持って社会で貢献されていることを知らして下さるのが誇りとなつていく訳です。小学校での教育は、実社会に役立つための基礎となる土台をしっかり和植え付ける教育機関と考えています。

川原

川原 先生がおっしゃいました総合的学習は言わば社会体験を児童に教える意味合いとして山桜会も積極的にいかかわっていく役割をはたすためにも是非協力していかねければならないですね。ところで追手門学院は総合学園でありながらも追手門学院の発祥が小学校から来ており、その特色が強すぎるため小学校と中学校そして高校との連携が、現実には思うように出来ていないのではという認識があります。また現実的理想的な一貫教育が追手門学院で成しうるのか、この点についてどう考えようか。川原 成しうるか、と言うよりも是非成し得ないことにはやはりこれからの将来の展望が望めないと思います。成し得なければ成らないと強く思います。以前は間違いなく成し得ていた時期があった訳ですが、それがどうしてこうなったのか？それに対する反省、対策、対応が学院組織の中で十分検討できなかった行われなかった事に問題があり、一員として強く責任を感じます。しかし各教育機関は独立心があつて、その独自性を出さなければならぬために努力された結果、異なった独自力、それが組織として一貫性がなくなつた事だと思っています。いろいろな面で全学教員の共通認識を深める事が出来なかつた事が大きいと思います。今後、もっと強く教師集団の連携と、子どもたちをどう育てていくか一貫したものを目指して社会の丁ズに答えなければならぬと思います。関東には、慶応や学習院等、その他の名門校のように、一貫教育の充実しているすごい学園があります。しかし、関西には中高からはという学園はありますが、しかし本学院は総合一貫教育という丁ズの広さと名門という地盤があります。それを踏まえながら大学教育まで一貫性を持って教育する事ができれば大いなる発展につながると思います。川原 そうしますと小・中・高・大という折角の器がありながら、今まで生徒や父兄の需要に必ずしも追手門学院が対応出来ていない部分もあり、「一貫教育」という教育的メリットを生かすためにも、今後は明確に教員の方や学校法人理事の方々に認識をしていただく必要性もあるのでしょうか。山桜会では、小中高の卒業生としても大学も含めて理想的な一貫教育を強い決意を持ってぜひ実現して欲しいと思います。伝統を忘れずにグローバルな総合学園の実現のため山桜会としても大いに学校教育にかかわって応援していく体制作りに進んでいきたいと思っていますので、協力下さるようお願いいたします。本日はお忙しいところ、長時間にわたり、貴重な意見をお聞かせいただきありがとうございます。

川原

成しうるか、と言うよりも是非成し得ないことにはやはりこれからの将来の展望が望めないと思います。成し得なければ成らないと強く思います。以前は間違いなく成し得ていた時期があった訳ですが、それがどうしてこうなったのか？それに対する反省、対策、対応が学院組織の中で十分検討できなかった行われなかった事に問題があり、一員として強く責任を感じます。しかし各教育機関は独立心があつて、その独自性を出さなければならぬために努力された結果、異なった独自力、それが組織として一貫性がなくなつた事だと思っています。いろいろな面で全学教員の共通認識を深める事が出来なかつた事が大きいと思います。今後、もっと強く教師集団の連携と、子どもたちをどう育てていくか一貫したものを目指して社会の丁ズに答えなければならぬと思います。関東には、慶応や学習院等、その他の名門校のように、一貫教育の充実しているすごい学園があります。しかし、関西には中高からはという学園はありますが、しかし本学院は総合一貫教育という丁ズの広さと名門という地盤があります。それを踏まえながら大学教育まで一貫性を持って教育する事ができれば大いなる発展につながると思います。川原 そうしますと小・中・高・大という折角の器がありながら、今まで生徒や父兄の需要に必ずしも追手門学院が対応出来ていない部分もあり、「一貫教育」という教育的メリットを生かすためにも、今後は明確に教員の方や学校法人理事の方々に認識をしていただく必要性もあるのでしょうか。山桜会では、小中高の卒業生としても大学も含めて理想的な一貫教育を強い決意を持ってぜひ実現して欲しいと思います。伝統を忘れずにグローバルな総合学園の実現のため山桜会としても大いに学校教育にかかわって応援していく体制作りに進んでいきたいと思っていますので、協力下さるようお願いいたします。本日はお忙しいところ、長時間にわたり、貴重な意見をお聞かせいただきありがとうございます。

平成13年度 山桜会予算 (平成13年4月1日より平成14年3月31日まで) (単位:円)

< 収 入 >	本 年 度 予 算	前 年 度 予 算	増 減
前 期 繰 越 金	33,195,026	33,195,026	-
終 身 会 費	15,000,000	16,620,000	△ 1,620,000
賛 助 金 ・ 寄 付 金	1,000,000	1,000,000	-
会 報 広 告 料 収 入	1,000,000	1,000,000	-
利 息	5,000	5,000	-
合 計	50,200,026	51,820,026	△ 1,620,000
< 支 出 >			
会 報 発 行 費	7,000,000	7,100,000	△ 100,000
総 会 費	180,000	500,000	△ 320,000
教 育 奨 励 費	1,050,000	1,200,000	△ 150,000
会 議 費	600,000	600,000	-
事 務 費	1,300,000	1,300,000	-
交 通 出 張 費	100,000	100,000	-
支 部 助 成 費	250,000	250,000	-
新 年 会 費	300,000	300,000	-
雑 費	300,000	300,000	-
名 簿 管 理 費	0	103,000	△ 103,000
行 事 参 加 協 賛 費	0	100,000	△ 100,000
I T 推 進 費	557,000		557,000
予 備 費	1,000,000	300,000	700,000
山 桜 会 基 金 積 立 金	11,000,000		11,000,000
小 計	23,637,000	12,153,000	11,484,000
次 期 繰 越 金	26,563,026	32,983,601	△ 6,420,575
合 計	50,200,026	45,136,601	5,063,425

財 産 目 録 (平成13年3月31日現在) (単位:円)

科 目	金 額	内 容
普 通 預 金	30,129,193	住友銀行 茨木支店
金 銭 信 託	20,616,520	山桜会基金引当特定預金
現 金	98,000	
預 け 金	2,967,833	
資 産 合 計	53,811,546	

平成12年度 山桜会収支計算書 (平成12年4月1日より平成13年3月31日まで) (単位:円)

< 収 入 >	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前 期 繰 越 金	26,511,601	26,511,601	0	
終 身 会 費 収 入	16,620,000	16,470,000	150,000	平成13年3月卒業生分 3万549名
賛 助 金 ・ 寄 付 金 収 入	1,000,000	897,000	103,000	賛助金207名他
会 報 広 告 料 収 入	1,000,000	740,000	260,000	
名 簿 販 売 料 収 入		835,000	△ 835,000	
新 年 会 費 収 入		69,325	△ 69,325	
利 息 収 入	5,000	12,068	△ 7,068	
合 計	45,136,601	45,534,994	△ 398,393	
< 支 出 >				
会 報 発 行 費	7,100,000	8,539,680	△ 1,439,680	会報64号、65号、66号
総 会 費	500,000	951,052	△ 451,052	
教 育 奨 励 費	1,200,000	1,232,038	△ 32,038	学校祭、体育大会 教職員への記念品
会 議 費	600,000	488,380	111,620	理事会、評議員会、各種委員会
事 務 費	1,300,000	631,240	668,760	学校事務費 他
交 通 出 張 費	100,000	28,890	71,110	
支 部 助 成 費	250,000	200,000	50,000	東京山桜会 (20万円)
新 年 会 費	300,000		300,000	
雑 費	300,000	200,688	99,312	燃料、充電機
名 簿 管 理 費	103,000	68,000	35,000	
行 事 参 加 協 賛 費	100,000	0	100,000	
予 備 費	300,000	0	300,000	
小 計	12,153,000	12,339,968	△ 186,968	
次 期 繰 越 金	32,983,601	33,195,026	△ 211,425	平成13年3月卒業生分 1,647万円を含む
合 計	45,136,601	45,534,994	△ 398,393	

山桜会基金現在高 (平成13年3月31日現在) (単位:円)

前 年 度 末 現 在 高	20,563,691 円
本 年 度 利 息	24,006 円 (前期)
〃	28,823 円 (後期)
今 年 度 末 現 在 高	20,616,520 円

証憑書類を監査した結果、山桜会収支計算書、財産目録は適正に作成されているものと認めます。平成13年5月24日

監事

監事

もらっていましたから、ほんとうにたくさんさんの事でした。厳しい練習で養った、最後の公式戦勝利の感激、最後の公式戦勝利の大切さ。

また、3年間を通して、それができません。修養的な問題についてみんなの意見を通して、自分の意見をしっかりと持って反復も増えることまで、最後に、学習のこころから、将来コンピュータようになりましたが、担当、来てもいいと思います。目指すことができたから3年間、毎週行われたテストや苦手な科目の勉強のうちに力をつづけるのだと思っています。クワの両立は大変でしたが、中力で、高3最後の勉強になったのだと思います。

● 賛助金氏名一覧 ●

平成13年4月1日～
順不同 (敬称略)

中谷 (柏木) 千春 (大中高38)	川口 武邦 (小76)	阪上 廣明 (小79大22)
三好 (吉瀨) 嘉寿庵 (大中高6)	新出 愛華 (大中高51)	廣明 順子 (大中高25)
相馬 太郎 (小49)	嶋本 喬 (大中高5)	木田 修 (大中高3)
新津 建樹 (小72大中高15)	中野 勝則 (大中高39)	利見 慶三 (小51)
内田 俊之 (小83大中高26)	水田 善博 (小47)	後藤 (立花) 良雄 (小61大中高4)
真原 立二 (小76)	松崎 浩一 (大中高26)	武田 桂三 (小83大中高26)
神谷 智雄 (小84)	島崎 修次 (小64大中高7)	的場 年昭 (大中高26)
二宮 俊子 (大中高2)	酒井 良之助 (小48)	松本 直樹 (大中高31)
岡本 和彦 (大中高23)	中山 正廣 (小72大中高15)	松本 暁子 (小80大中高23)
清水 彦治 (大中高26)	中山 幹重 (小48)	馬場 (田窪) 睦代 (小90)
大島 知之 (小52)	本島 (山本) 千恵子 (小63大中高6)	竹村 基東 (大中高20)
井上 素夫 (小39)	大田 祐資 (小67)	馬場 耕一郎 (大中高22)
三田 裕 (小49)	馬淵 卯三郎 (小51)	岩崎 裕保 (旧職員 大高14)
前田 知一郎 (小45)	中谷 庄八 (大中高37)	能登 知己 (小89大中高32)
藤田 仁志 (大中高14)	島田 信生 (小51)	吉本 晴彦 (小47)
神前 景一 (大中高31)	島田 雅治 (大中高39)	出口 英一 (小79)
黒田 孟利 (小49)	牟田 実 (小46)	中谷 善紀 (小77大中高20)
旭屋書店 (小93)	大向 博 (小77大中高20)	松村 (津村) 千景 (小71大中高14)
林 正行 (大中高36)	出口 英一 (小79)	石津 良行 (小72大中高15)
山田 真嗣 (小53)	中谷 茂 (小48)	山田 (坊) 聖佳 (大中高34)
馬淵 透 (大中高4)	濱田 (越智) 祥子 (小55)	辻中 徳一 (大中高3)
立立 尚 (大中高24)	利見 修造 (小84)	重野 剛 (大中高14)
前田 要一 (小100大中高43)	笠原 要彦 (小60大中高4)	大室 勝一 (大中高10)
加藤 明 (小52)	中西 要彦 (大中高2)	森里 健子 (大高20)
竹嶋 正巳 (小43)	多喜 (三田) 晴代 (小51)	重里 欣孝 (大高24)
藤岡 義人 (小110)	真木 宏 (大高14)	福本 敏久 (旧職員)
竹之下 匠 (大高2)	奥村 (尾崎) 寛子 (小78大中高1)	川内 季治 (小71大中高14)
長谷川 (佐合) 久子 (小75大中高18)	大西 (樋口) 洋子 (小78)	川口 正弘 (小75大中高18)
権野 積一 (小67大中高10)	浅井 (片山) 知子 (小88)	生川 紳一郎
辻田 四郎 (大高22)	寺谷 誠宏	

オール追手門 2002年 大新年会 「なにわ、友あれ好きやネン追手門!!」
—— なつかしの夢ひろば ——

恒例となった山桜会の新年会が平成14年1月19日の土曜日、太閤園(大阪市都島区)のゴールデンホールで開催されます。
年を追うごとに山桜会員はもとより追手門各校の先生方、学院関係者の皆様のご出席をいただき、よき交流の場となっております。
今回もできるだけたくさんの方に参加いただき、楽し



んでいたこうと新年会実行委員一同張りきって準備に取り組んでおります。
追手門学院出身の越智則英氏を迎え第一部「ニューイヤーコンサート=オペレッタからスクリーンミュージックまで」と題しましてサロンコンサートの雰囲気を楽しんでいただきたいと思います。
越智則英氏は追手門学院高校を卒業後、桐朋音楽学院声楽科へ進まれミラノ・ニューヨークに留学し、現在は二期会会員として数々のオペラ・オペレッタに出演する他、「屋根の上のヴァイオリン弾き」「ラ・マンチャの男」等ミュージカルの舞台でも活躍されています。又、第二部懇親会におきましては懐かしい先生方を囲んで美味しいお料理を楽しんでいただくと共に、当選率80パーセント?と噂される福引大会でも盛り上がっていただきます。
より賑やかな、より華やかな新年会になるよう、会員の皆様はもとより学校関係者、PTAの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。どうぞ山桜会新年会にお越しく下さい。

山桜会の年間行事

2001年

4月 ●第1回理事会・評議委員会
●臨時評議委員会

新役員(理事32名、評議員84名、監事3名)が選出され1回目の役員会です。

5月 ●第2回理事会

各委員長より今後の活動予定案が提出され、有意義な活動を行っていく為の審議がなされた。

6月 ●総会・懇親会

例年5月の第4日曜日に行われていた総会・懇親会は今年度より6月第4日曜日に変更になり小学校110記念ホールで行われました。吉本前会長から川原現会長への引き継ぎの固い握手です。

7月 ●合同PTA総会出席

8月 ●第3回評議委員会
●大手前中高教員との懇談会
●山桜会文化活動
(大山崎散策・ゴルフ準備会)

今期4月に文化活動委員会が発足し、ゴルフ大会、大山崎散策を行いました。



大山崎



評議委員会



総会



懇親会



ゴルフ



9月 ●大手前文化祭いか焼き

渉外交渉委員会が中心となり大手前中高文化祭において、いか焼きブースを出し、中高生と交流しました。



10月 ●茨木にて第3回理事会・先生との懇談会
●茨木教職員、PTA合同スポーツ大会
●小学校運動会

理事会
定例の理事会を茨木中高で開催し、後、先生方との懇談会を持ちました。学校改革へ向けて一致団結し励んでおられます。山桜会も今後益々協力体制を充実し、交流を深めていきます。



スポーツ大会

山桜会チームを結成し、教職員・PTA合同チームと対戦しましたが、惜しくも5対4で負けてしまいました。



小学校運動会

全校生徒に毎年記念品を贈っています。小学校運動会での小学生への贈呈式です。

11月 ●小学校文化祭

2002年

1月 ●新年会

3月 ●第4回評議委員会

12月 ●第4回理事会

2月 ●第5回理事会



京会
東山桜

第44回
総会・懇親会

平成13年6月2日(土)、東京会館の東商スカイルームに於いて、約70名参加されました。約30名、全体の1/3以上が65才以上の豊饒とされた偕行社卒の方々でした。毅然とされた追手前学院卒の若中年が、約40名、うち8名が、大阪から来て下さいました。会は大に楽しく和やかに盛り上がりました。今年は、雅子様御懐妊を祝し、五色五あんのかわいらしい一口饅頭の『雅子様おめでとう饅頭』を食へ皇居を眺めながら乾杯をし東京会館の美味しい食事をし、明るい話に花が咲き賑わいました。皆様の顔が、パツと明るくなり晴れ晴れした気持ちで楽しく過ごしました。役員の方々の工夫で、毎年お食事会、観劇会、音楽鑑賞、名園めぐり(92才の田中稔先生の引率と解説つきは、あつぱれです。)等企画され女性会員も花をそえています。リフレッシュとリラクセスができて、好評です。片桐先生や緒方先生方の志を受け継いだ東京山桜会が、来年は70名を100名以上に増やしたいです。偕行社の大先輩達が、『東京山桜会総会の写真を見てくれて、ワシ、俺、僕の顔を見て、ワシ、俺、僕とわかってくれて東京に会いに来てくれたらなあ。』と心待ちにして期待

されています。生きている間に会っておきたい方、なつかしい友達にあつて話をされたらいい方、生活改善、心機一転奮起一番されたい方、友達の輪をひろめたい方、大学生の方、子育てで忙しい方、大先輩達にお会いしませんか? 人生の相談、アドバイスをして下さり、心強まっています。

(佐伯記)



小49期
ろ組

クラス会開催

平成13年6月9日(土)大阪東急ホテルに於て本年度クラス会を開催いたしました。

49期ろ組クラス会は毎年6月の第2土曜日に開催する事にしており本年は昨年より1名減の9名の参加となりました。

恩師の神原先生も御他界され卒業後六十有余年経過した事もあり皆それぞれの健康上の理由もあり一年一年参加者が減少する様になりましたが一年に一度のクラス会をお互いが待ちわびる様になり約2時を昔話に花を咲かせ又来年の再会を約し解散いたしました。

9月26日

(常任幹事 佐々木成之進)



小58期
い組

第4回同窓会

去る7月8日(日)第4回同窓会が、梅田の青真にて開催された。

皆な再会を楽しみにして集った人ばかりで、昔話に花が咲き、あつという間に時間が過ぎてしまった。それでも最後は一人づつ近況報告を行いそれぞれの人生感に聞き入り感慨一人であつた。

来年の七夕の次の日曜日には、また会おうとなりを惜しみながらの解散であつた。

当日の出席者名は、次の通り。

(石川、川口、辻本、中島、額田、長谷川、柳、山中、吉川、弥谷)



小55期い組のクラス会

五十九年ぶりの

吉野



小学校4年生の時に吉野へ遠足に行った我々偕行社小55期い組では、59年ぶりに吉野へ一泊旅行に行った。

幹事として何より嬉しかつたのは、32人にクラス会の案内状を送り、32人の全員から回答のハガキを貰った事である。出欠に拘わらず、又病氣療養中の人からも全員、近況を書いた返事をくれた。さすがに全国有数の厳しい縣教育を受けた偕行社の仲間だ、60年たちた今も当時の教育は我々の体の中に滲みついていると感激をした次第である。

平成13年6月9日、近鉄アベノ橋駅より特急に乗って吉野神宮駅で先着の人達と合流をしてまづ吉野神宮に参拝をした。

利見君が『昔、我々が吉野へ遠足に來たのはアメリカのドリットル空襲のあつた日であつた』と記憶しており、全員から凄い記憶力!と絶賛をあびて少々アツていた。おかげでそれは昭和17年4月18日であつた事が判明した。

参拝後、59年前と同じ場所、本殿前の石段に整列をして記念撮影をした。あの時はみんな此処で後醍醐天皇に戦勝祈願をしたんやなと言いつつ忽ち無邪気な小学4年生の昔に戻つて石段の上を何度も踏みしめていたのであつた。

地元の名倉君の肝入りで蔵王堂の近くの湯元「宝の家」(ホーノヤ)に入り溪谷に面した露天の岩風呂に入り汗をながした。

吉野山で温

泉が出た事を知らない人も多い様だ。此処の露天風呂に浸かりながら櫻の季節なら千本、万本の櫻が一望して見渡せる絶好の立地になっている。

宴会後はカラオケに興じた。古い歌からスタートしたが新しい歌も結構多く、最後は全員で『金剛石』を合唱した。在学中は朝礼の時に、校歌と一日おきに歌っていた懐かしい歌でめでたく最後迄歌つて全員拍手。

このあと、一室に集まりかねて仲居さんに用意をして貰つていた、おにぎりやら酒・ビールなどでワイワイとお喋りをした。誰かが何かを話すと、別の誰かがその後を引き取つて、それから誰かがこういふ事をやって先生に叱られたとか夜のふけるのも忘れて話した。昔の記憶力もすごかつたが、

一つを思い出すと連鎖的に次々に話が續くのも同じ苦しい時代を一緒に体験をした級友同志の心安さからであらう。しかし、欠席をした者が槍玉にあがる傾向もあり、欠席はしない方がいいなと思つたのも事実である。



も事実である。

翌日は蔵王堂、吉水神社を廻り、午後名倉君調達のマイクログラス館を出発。59年前の遠足の時のもう一枚の写真と同じ場所でも又々記念撮影。十三重の石塔の前での写真だったので大和三名園の一つの竹林院と見当をつけて同じ場所でも撮影。この後如意輪寺、蜻蛉の滝を廻つた。

如意輪寺では、楠木正行の「かへらじと」の辞世の句の前で涙し、又吉野三絶の漢詩を見て先人の吉野、南期への想いの深さ歴史に深く感じられた。川上村の蜻蛉の滝へも行つたが、この立派な滝はもともとつと多くの人に見せたいが山奥なればこそ、来れる人は少ないが、幽遠の趣が残されているのだらうと複雑な想いをおかしたのであつた。

古希を迎えまた迎えようとしている我々が、又来年も皆元氣な顔で集まろうと約束をして夫れ夫れの家路についた楽しい2日間であつた。

(大西義夫)

小47期 活躍の場を拡げる47期生

【級友からの嬉しい便り】

吉本前会長もメンバーの先頭に、昭和11年卒の『サムライ』たちは、毎年の同期会を楽しみにしている。『学徒出陣』の仲間たちだ。今年は6月2日(土)に、初めて大阪マルビルの1階ラットで昼間に行われた。

もう30年近くも続いているこの会は、最初のうちは組の赤松義夫さん、中井晃さん、前田芳郎さんらが引張り、『どうせやるなら』と2カ月に一度の顔合わせとなり、会場も梅田近辺を転々としながら、話題も豊富な『おしゃべり会』で見聞を広めている。

今回、山桜会長、吉本晴彦さんの勇退を機に、同期のわれら一同お世話にあずかった次第。店は昼どき若者で満員だ

が、一部屋借り切りなので打ち合わせなどにはもってこい。ジヨギがついておらず取り放題、一人五千円也の大サービスである。

固い話も柔らかくして納得させる。最近の青少年の教育問題など下地がちゃんと出てくるサムライたちにはもってこい。おかげで、ことは参加者がふえて、一昨年の11人が13人に…。

会の当日、幹部の本多正雄さんの許へ、こんな便りがあつた。むかし級長をつとめていた川畑正之君からのFAX送り。「太平洋を隔てているので出席できません…」同君は京大の工業化学を出て大阪ガスに勤め、修士、博士課程を修了。環境関係の新会社で技術顧問をしている。60

席落語で、満場を笑いにまぎ込んでいた。いま奥様ともども新内のお師匠さんでアチコチで、弥八の新内を聴く云が催されている。10月11日夜

ワッハ上7階での「一本刀士俵入り」弥八弾語り弥八子掛合いは熱演だった。『歌う新内』から「語る新内浄瑠璃」へと、並々ならぬ精進ぶり。地味な努力を続けている人も多い。ドッジボールの名手だった『ろ組』の渡辺敏彦君は一時

脳こうそくを患い、外出を控えていたが、生活を一新。岐阜県各務原市からこんな便りが届いた。「今週は予定が混んでいて出席できません」年内はIT講習会に参加してワープロ専用機にかえ、パソコンを勉強したい。

い組の前田芳郎さんは、宝塚音楽学校の校長まで勤めた人。余芸も達者で、宴席での手品は十八番だ。ろ組の劉善夫医師は、余芸として好きなラグビーを生かし、(現在は関西の役員)ゴルフを楽しむ山村明君らと話はピッタリ。(兵頭公克・元サンケイスポーツ)



地元でも多才多才の人たちが活躍している。赤松さんは学校の時から音楽に才能があり、大高時代から作った曲を編曲して、11月17日関西フィルハーモニーの演奏で公開出演した。ろ組の岡本弥八さん(旧姓入江)は、昼休みにお得意の即

小76期

ホームページを開設!!

この度、追手門学院小学部76期生は組のホームページを作成しました。同窓会情報や、掲示板もありますので、ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.surprise-s.co.jp/76/>

小63期、中高6期 同期会便り



私達小学部卒63期、中高学部卒6期の「63・6・6期同窓会」のネーミングも今や耳慣れたものとなり、第三回の

同窓会を6月2日(土)にリ「ガロイヤルホテル」で開催しました。

恩師の神楽岡昌俊先生、酒井良之助先生、佐伯勝先生、佐藤良和先生、柴田浩平先生、中川貴先生、原田友之先生の7人と私達48人の懐かしい顔が揃いました。もう私達も61か62才、どちらが先生か生徒かわからぬ有様です。又よく叱られた先生にも「あだ名で呼びかけられるのも同窓会ならではのことですよ。」

和氣調々のうちに「又会おうな」とか「皆元気でいろうよ!」の掛け声で閉会となりましたが、最後の校歌斉唱で「一気に三番まで唱うのは少々苦しい…」の声がかれたのはやはり「本音の本音」といってよろしいのか。楽しい一夕でした。

(越田)

小62期ろ組 赤井先生を囲む会



平成13年3月17日(土)リ「ガロイヤルホテル」王府に於いて小学部62期ろ組のク

ス会、名付けて「赤井先生を囲む会」を開催しました。小学校を卒業して50年が経過し、既に故人となられた方が数名おられますが、26人もの同級生が集まりました。赤井先生は83歳と、高齢のうえ眼が不自由ですが、ご子息様の介添えで出席していただき、我々の無理を聞いていただき、また、幹事の努力もあり、50年振りの人や東京方面の遠方からの人が多く出席され、特に女性が10名と華やかに盛りあがり楽しいひと時でした。還暦を過ぎてもまだ現役で活躍している人も、悠々自適の生活をしている人も、昔の思い出に花が咲き、時の経つのも忘れてしまいました。

幹事代表 村井記



茨高23期 同窓会

9月1日帝国ホテル大阪「パタパタデラサルサ」に58名が集まりました。先生も5名ご出席頂きました。写真で顔と名前一致しますか。先生は卒業して26年経ってもわかりますよ。神谷先生、石川先生、松宮先生、森先生、黒田先生です。在校中に培われた皆で協力して作り上げていく精神が活かされ、会は大変盛り上がり、皆、顔して写っています。次回(2年後)3組が幹事クラスで開催されます。今回より多くの人数が集まり、旧交を温めましょう。

幹事クラス2組

小64期、中高7期 同窓会

いくら化粧をしていてもいくら若々しく粧つても、会場に集合した者、すべて同じ年齢。ただ、みんなそれぞれに上手に年齢を重ねた者ばかりである。

恩師柴田、梶岡先生をお迎えして小64期、中高7期の53名が一同、ナンバ日航ホテルに集った。

50年という時間がタイムスリップ状態。

ワイワイ、ガヤガヤ。還暦をすぎた年齢からくるずうずうしさか、企業戦士としての生活に区切りがついたからか、あるいは人恋しい年齢になったからか。

やたら告白めいたセリフの多いこと。

過去の重荷を方から落とすようでもあった。

今回、何らかの理由で出席出来なかった人ぜひ、次回に



誰れ一人として欠けることのないことを祈りつつ次会へ。

5月26日(土)は次の日曜日まで、ミナミは燃えていたのである。

小81期同窓会のご案内

平成14年1月13日(日)に、追小81期生(昭和45年卒業)の同窓会を行います。卒業以来、実に32年ぶりの再会です。是非、ご出席下さい。尚、平成13年11月の中頃までに、郵便にてご案内状を送り致しますので、届かなかった方は、恐れ入りますが幹事までご連絡下さい。

代表幹事 松井 薫
Tel/Fax:06-6933-6699
e-mail:happy.matsui@nifty.ne.jp

チャリティー ゴルフ大会

● 参加者募集 ●

2002年 4月13日(土)

AM8:00スタート

オリムピックゴルフ倶楽部

詳しくはホームページをご覧ください。
お問い合わせは山桜会室06-6940-3481まで
文化活動委員会主催

ホームページ内の会員専用掲示板

で入れます。

67号8面計報欄に掲載
致しました桜田(旧姓
野崎)富自様中高3期
はご存命です。関係各
位に迷惑をお掛けし
ましたことを慎んでお
詫言申し上げます。共
に訂正致します。

お詫言



は、20期の勇姿が基礎スキー部として同好会を立ち上げ、25期が競技スキー部へと進化させた歴史があります。数々の苦難にも直面しながら、インターハイ・国体の大阪府代表の常連となり昨年は大阪府の学校対抗においても優勝するまでとなりました。今回、母校に往年の部員が集い、亀井校長や顧問の小柴先生・菅家先生、そして現役選手を交えてクラブの30周年を祝いました。親子以上の年齢差があるにも関わらず、同じクラブというだけで親しみもわきスキー談話に花が咲きました。節目の年に迎へ、OB会の会長も20期の小田原氏より私へとバトンが手渡され、より一層の活動を計画しております。会員間の親睦のみならず、コーチの派遣等を通して現役に支援し、クラブ活動を通してしか得ることが出来ない感激や感動、達成感として先輩や後輩との繋がりを伝えて行きたいと思っております。また、記念CDを作成するに迎へて協力頂きました関係各位の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

編集後記

今回の会報をみていただいてもおわかりになると思いますが、茨木出身の方の投稿が少なく、記事が少なめです。茨木出身の方、同窓会やクラブの周年行事等、いろいろな原稿をお待ちしております。

4面に両中高の入試要綱を掲載しております。両校共特色あるコースを設け、先生方は生徒の能力を引き出し、更なる学力UPの為に、日々励んでおられます。その熱い思いが良い結果となるため、また追手門学院が総合学園として未来永劫続いていくため、是非、お近くの方に両追手門学院中高等学校をお奨めください。会報委員会といたしましても、両中高の先生方と密に連絡をとり、できる限り今の中高を、もちろん中高だけでなく、全校の今を報告し、協力体制をとっていきたく思っております。

会員紹介



彫刻家

藤原(岩田) 賢二 (大中28期)

- 1980年 ニューヨーク フレンズワールドカレッジ入学
- 1986年 大阪府泉佐野市市民展 彫刻の部カレア賞受賞
- 1987年 大阪府泉佐野市市民展 彫刻の部2年連続カレア賞受賞
- 1990年 第1回Upルアート工房展 入賞
- 1994年 大阪府泉佐野市市民展 市議会議員賞受賞
- 1998年 堺市美術新人展 入選
- 1998年 第1回魚象派展 出展
- 毎日テレビ「楽園回鑑」、NHK「スクエア」、毎日テレビ「おかしなワカ町SP」、月刊フィッシュマガジン(緑書房)、月刊アクアライフ(マリン企画)、ビーバル(小学館)に紹介される
- 2000年 テレビ東京日本人作家60人によるニューヨーク大個展の1人に加え、ニューヨークで個展
- 毎年、春に大阪彫刻家会議主催「春・彫刻展」を大阪府立現代美術センターで、秋には、大阪市、大阪彫刻家会議主催「花と彫刻展」を大阪市鶴公園で作品展示。

大手前中高50周年記念として平成12年のPTAバザー収益より大中28期藤原さんにお願ひし、製作していただきました。大手前中高玄関に展示しておりますので、是非ご覧ください。

土地活用・ビル管理・30年の実績

株式会社 タイセイシュアースサービス

〒534-0021 大阪市都島区都島本通1丁目4番20号 大成ビル8F TEL(06)6921-8111 FAX(06)6927-2244

代表取締役 **辻田 四郎**
(小・67期生)(中・10期生)

大成グループ

マンション入居斡旋 **株式会社 レンティブ大成**

□都島店 □都島北店 □日本橋店 □難波店 □鶴見店 □千林店
□森小路店 □南箕田 □北箕田 □桜ノ宮店 □梅田店

清掃
株式会社 タイセイサクセスプランニング

不動産売買仲介
株式会社 関西リアルエステート

HAKKO

ハ光カーラウンジ株式会社

ハ光ポーティング株式会社

ハ光トレーディング株式会社

ハ光サンパビリゾート株式会社

オーストラリア

マセラティ大阪地区正規代理店

ARESE SHIN OSAKA

フィアットオートジャパン正規ディーラー

FIAT

Alfa Romeo

ハ光カーラウンジ株式会社/アレーザ新大阪

■本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-35 TEL:06-6397-8008 FAX:06-6395-7395
■堺屋川店 〒572-0071 堺屋川市豊里町15-15 TEL:072-802-0088 FAX:072-802-0888
■豊中店/P ファクトリー 〒560-0091 豊中市走井3-6-2 TEL:06-6858-8838 FAX:06-6858-8839
http://www.hakkogroup.co.jp/ e-mail:info@hakkogroup.co.jp

代表取締役 **池田 八朗**(18期卒業)



川原 総合法律事務所
Kawahara Law Office

弁護士 **川原 俊明**

(小7・1・中高14期)

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号 幸田ビル8階

TEL:06-6365-1065 (代表) FAX:06-6365-7265

E-mail:kw-law@smile.ocn.ne.jp

http://www.kawahara-law.gr.jp

何でも あります 高17期卒 嶋野 義夫

ダントツの3000坪

●生活家具から調度家具まで●

家具のやおもく

www.yaomoku.com

日本一の安さ!! 結婚家具 200組 景品

日本一!! BED 300台 景品

3年連続日本一!! 学習机 200台 景品

カリモク コスガ マルニ 浜本工業 シモンズベッド フランスベッド

ご愛読者・関係者及びご紹介の方へ

一流ブランド オール3割引

輸入家具も特別値引き

大阪府八尾市光南町2丁目41 外 商 校 井 木 村

フリーダイヤル 0120(555)703

まるごと満足! **大阪マルビル**

お得な情報が満載のホームページ!
ぜひ、アクセスしてください!!

(大阪マルビル) http://gnavi.joy.ne.jp/marubiru/
(大阪第一ホテル) http://www.osakadaichi.co.jp

大阪マルビル JCBカード 入会申込み 受付中!

OSAKA MARUBIRU CARD

株式会社 **大阪マルビル** 会長:吉本 晴彦(小学校47期卒業)
社長:吉本 晴之

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 (定休日)B1・B2毎月第3水曜日、他年中無休

おかげさまで100周年
総合フードサービス

IFSCOグループ
一富士フードサービス株式会社

代表取締役社長 **辻本 泰幸**

本社 〒553-0003 大阪市福島区福島4-7-2
TEL 06-6458-8801(代表)

給湯設備を通じて
より快適な暮らしを提案

SEIWA
Industrial Corporation

株式会社 **精和工業所**

代表取締役社長 **山下 清一**
(高・14期)

本社工場/〒664-0836 伊丹市北本町3丁目105番地 TEL:0727-82-0281(代表)
奈良工場/〒639-1039 大和郡山形市榎木町1番地 昭和工業団地 TEL:0743-56-1062(代表)